

開催概要：

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、その達成に向けて日本でもさまざまな取り組みがあります。産学官のステークホルダーがバランス良く所属する農業食料工学会において、その英知を結集して農業機械の視座からSDGsの目標達成に貢献できる可能性をアクター（主体）として共に考えてみましょう。

日時：2020年3月4日（水） 13:10～17:20

会場：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）

農業技術革新工学研究センター はなの木ホール

（埼玉県さいたま市北区日進町1-40-2）

地図 <http://www.naro.affrc.go.jp/iam/introduction/access.html>

主催：一般社団法人 農業食料工学会

協賛：独立行政法人 国際協力機構（JICA）、農研機構 革新工学センター

企画：農業機械部会（一般社団法人 農業食料工学会）

定員：100名

参加費（当日会場でお支払い下さい）：正会員・学生会員 2,000円、非会員 3,000円

※（一社）農業食料工学会への体験入会の申込みも受け付けます（3,000円）

参加申込方法：次のいずれかの方法でお申込みください。

① Eメールによる参加登録：nogyo-kikai-bukai(アットマーク)ml.affrc.go.jp

（所属・会員区分・氏名を明記の上でお申込みください、受領メールを送付いたします）

②FAXによる参加登録：048-654-7135（下記申込みフォームに記入後送付）

（受領連絡ができません、受領連絡をご希望の方はメールにてお申込みください）

申込み締切日：2020年3月3日（火）

申込みフォーム（FAX用）

ご所属	
会員区分	農業食料工学会 ・ 正会員 ・ 学生会員 ・ 非会員（特別会員含む） ※該当する区分に○を付ける
ご氏名	

参加者募集
農業食料工学会 農業機械部会セミナー

農業機械化を通じた SDGs への貢献

プログラム：

司会進行 農業機械部会 幹事長 吉永 慶太（農研機構）

開 会

13:10 開会挨拶 農業機械部会 部会長 長谷川 英夫（新潟大学）

基調講演

13:15 本邦農業機械メーカーの海外事業展開への期待
農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ 安原 学

話題提供

13:55 アフリカにおける本邦企業の農業機械活用に関する調査
-JICA 食と農の協働プラットフォーム(JiPFA)での議論-
独立行政法人 国際協力機構 農村開発部第5チーム 野口 伸一

14:35 休憩（15分）

14:50 ラストフロンティア・アフリカ～本邦企業の事業機会と戦略
アイ・シー・ネット株式会社 荒井 弘正

15:25 CARD2 アフリカのコメ生産倍増と農機の運用
NPO 法人国際農民参加型技術ネットワーク(IFPaT) 山口 浩司

16:00 日本市場におけるロシア産大豆の現状
太洋物産株式会社 大隅 心

16:35 休憩（15分）

総合討議

16:50 農業機械化を通じた SDGs への貢献に向けた農業食料工学会の役割
座長 農業機械部会長 長谷川 英夫（新潟大学）

閉会

17:20 閉会の辞 （一社）農業食料工学会 学会長 近藤 直（京都大学）

◆ プログラムは、講師、会場の都合により予告なく変更になる場合があります

問い合わせ先：

（一社）農業食料工学会・農業機械部会 幹事 原田 一郎 山崎 裕文
（国研）農研機構 革新工学センター
TEL（直通）：048-654-7105、FAX：048-654-7135
Eメール：nogyo-kikai-bukai(アットマーク)ml.affrc.go.jp